
紅色の終止符

桐嶋 麗子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅色の終止符

【Nコード】

N5593A

【作者名】

桐嶋 麗子

【あらすじ】

不倫の結末と狂気を書いたつもりです…

朦朧とした意識の中で、薄暗い部屋にかちりと鳴るジップの音がやけに耳に響く。

私は重い体を起こして、黙って紫煙を吐き出している背中に抱きついた。

『ねえ、今度は何時来てくれるの？』

火照った体が彼の素肌にぴったりとくっつく。その感覚が気持ち良くて、楽しむように肌と肌を摺り寄せた。

しかしその肌はするりと私の腕を擦り抜け、シャツに腕を通しボタンを留め、無言で余韻に浸る時間の終わりを告げた。

そして、吐き捨てる様に彼は言った。

「もう、俺達終わりにしよう」

無表情のまま私にちらりと視線を向けて、そして彼は背を向けた。

『…ぶっして……？』

彼の言った言葉がぐるぐると私の頭を駆け巡り、徐々に正常な思考の働きを失っていく。

『愛してるって、言ったじゃない！』

私は叫んだ。

『奥さんと子供がいるから？私の事嫌いになったの？』

怒りと悲しみとで、涙も出て来ない。

『私は、遊ばれていたの…？』

彼の背中はまだ話したくないと物語っていた。

『なんとか、言ってよ！』

手元にあつた写真立てを投げつける。

彼には当たらず、ガシャン！とテーブルの足に当たり、割れた。

段々呼吸が苦しくなっていく。

心臓の音が体中を巡る。

しばらくの沈黙の後、やっと彼は口を開いた。

「…最初から、結ばれない愛だったろ。」

振り向き様に言った後、紺色のスーツを羽織りかけた彼の腕に私はしがみついた。

『お願い、待って！捨てないで！！』

しかし私の手は冷たく払いのけられた。

「いい加減にしろ！」

ビクンと、一瞬体が震えた。

目の前には、高笑いをしている女が映る。

ふと、子供と妻の笑う姿が浮かんできた。

楽しそうにブランコで遊ぶ可愛い息子。

それを見守る幸せそうな妻。

そして生い立ちから今までの事がものすごい速さで脳裏を駆け巡っていった。

…ああ、此れが死ぬという感覚か……。

徐々に遠くなつて意識の中、狂った様に笑う女をぼんやりと見つめて、俺はゆっくりと瞼を閉じた。

彼が動かなくなつた所を見届けて、彼の体をリビングに引きずって移動させた。

そしてまじまじと見つめて腹部を触ると、紅い血がどろりと手の平に附着して私はそれに見とれた。

何て綺麗な色なんだろう。

私はもつと見たくて、彼の体を切りつけた。

《りかちゃん。》

ふいに、誰かに呼ばれた気がして振り向くと、閉めていたはずの窓

が開いていてカーテンが揺れていた。

「だあれ？」

私は首を傾げた。

揺れるカーテンから差し込んでくる夕陽が、床に転がっている愛しい人の抜け殻と、段々とドス黒くなっていく血を照らす。

私は彼の側に行き、彼と同じように寝転がって、冷たくなっていく唇にキスを一つ落した。

視界のアングルを天井に移し、綺麗なオレンジに染まっていくのを見つめながら、私は手元にあった包丁を高くかざして、思い切り喉を深く突き刺した。

風が爽やかに吹く外からは、子供たちのはしゃぐ声が聞こえていた。

(後書き)

こんな作品とも言えないモノをお読み下さり、ありがとうございます
す m (| | ; ; m

私は小説を書き始めたばかりで、文法とか副詞とかその他諸々何も
解っておりません；

ただ、ムチ入れのつもりで書きました。

これから徐々に覚えて行こうと思しますので、どうか宜しくお願
致します…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5593a/>

紅色の終止符

2010年10月21日01時25分発行